

東北地方における三菱地所初の宿泊特化型ホテル開発 「(仮称) 仙台市青葉区中央4丁目ホテル計画」 着工

三菱地所株式会社が宮城県仙台市で進めている「(仮称) 仙台市青葉区中央4丁目ホテル計画」につきまして、本日2020年10月14日に着工しましたので、お知らせいたします。

本計画は、三菱地所の東北地方における初めての宿泊特化型のホテル開発となります。株式会社相鉄ホテル開発（本社：神奈川県横浜市西区、代表取締役：加藤 尊正）へ建物賃貸し、全国でホテル運営を手掛ける株式会社相鉄ホテルマネジメント（本社：神奈川県横浜市西区、代表取締役：加藤 尊正）が、“駅から5分。最初に選ばれるホテルへ。”をコンセプトとした、東北初出店となる「(仮称) 相鉄フレッサイン 仙台駅西口」として運営を予定しています。なお、本計画は2022年4月に竣工、同年夏に開業の予定です。
（「相鉄フレッサイン」公式サイト：<https://fresa-inn.jp/>）

本計画地は、JR・仙台市営地下鉄「仙台」駅から徒歩4分、JR仙石線「あおば通」駅から徒歩5分の仙台市内中心部に位置し、高い交通利便性を有した立地です。また、仙台の台所として多くの方々が訪れる「仙台朝市」至近に位置する本計画は、「仙台」駅前に集積するビジネスエリアや商業エリアへも徒歩圏内で、ビジネス・観光拠点として最適なロケーションとなっています。

三菱地所は、多様な宿泊用途に応えるべく、三菱地所グループである株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツをはじめ、国内外のホテルオペレーターと連携し、幅広いカテゴリーのホテル開発を全国で進めています。本計画地が立地する東北地方の経済活動と交流の中心地である仙台市内都心部において、仙台市による「せんだい都心再構築プロジェクト」が進められる中、新たな賑わいと交流の創出を目指し、ホテルのみならず多様な用途の開発に引き続き積極的に取り組んでまいります。



▲完成予想図（建物外観パース）

■計画概要

名称：(仮称) 仙台市青葉区中央4丁目ホテル計画
事業者：三菱地所株式会社
所在地：宮城県仙台市青葉区中央四丁目4番4他(地番)
アクセス：JR・仙台市営地下鉄「仙台」駅 徒歩4分(南2番出口)
JR仙石線「あおば通」駅 徒歩5分(2番出口)
主要用途：ホテル
敷地面積：約921㎡
延床面積：約5,112㎡
構造規模：鉄骨造、地上12階建
客室数：224室
設計・監理：株式会社ジャイロアーキテクト
施工：株式会社安藤・間
運営会社：株式会社相鉄ホテルマネジメント
着工：2020年10月14日
竣工：2022年4月(予定)
開業時期：2022年夏(予定)

■位置図



【参考】東北地方における三菱地所グループの取り組み

三菱地所グループは、仙台市において、市内北部の泉パークタウン及び都心部を中心に、約 50 年にわたりお住まいの皆様や仙台市とともにまちづくりを進めています。

泉パークタウンは、三菱地所が 1974 年のまちびらきから現在まで分譲を継続している約 1 万世帯が居住する総開発面積約 1,074ha の大規模開発です。「人と自然の調和した快適な住環境」をテーマとして「住む」「働く」「憩う」「学ぶ・集う・楽しむ」といった多彩な生活機能を備えるべく、ホテル・商業施設・事業所・スポーツ施設等を配した複合型のまちづくりを進めており、現在、最後の街区となる第 6 住区の東工区（一戸建用宅地：721 区画）の 2022 年まちびらきを目指して造成工事を行っています。

2019 年 5 月には、泉パークタウンを対象地として国土交通省スマートシティモデル事業「重点事業化促進プロジェクト」に選定され、第 6 住区を中心に、既存街区も含めた郊外型住宅団地の社会課題解決に向け、先進的技術の導入やタウンマネジメントの仕組み構築に向けた各種検討・実証実験を進めています。

一方、都心部においても定禅寺パークビル・仙台パークビル・花京院スクエア等のオフィスビル、kurax 等の商業施設の開発・運営管理のほか、仙台市のみならず東北地方の様々なエリアでも設計監理業務を請け負うなど、多岐にわたる事業を進めてまいりました。

私たち三菱地所グループは、今後とも多様な用途の開発に積極的に取り組み、住み・働き・集い・憩う方々に満足して頂ける地球環境にも配慮した魅力あふれるまちづくりを通じて、真に価値ある社会の実現に貢献します。

泉パークタウン HP タウンプロフィール

<https://www.izumi-parktown.com/concept.html>



▲定禅寺パークビル



▲仙台パークビル



▲花京院スクエア

以上